

第2回「学びの変革」委員会

出席者

校長(委員長)	○	教頭	○	総括事務長	欠	主幹教諭	○
指導教諭	○	教務主任	○	進路指導主事(中核教員)	○	実践推進リーダー	○
総務部長	○	1学年主任	○	2学年主任	○	3学年主任	○

1 校長から

(1) 教育長から 変革2年目で、平成30年には学びの変革を全面実施となる。

各校で方法はまちまちでよい、モデルはないので、自分たちで単元計画を作っていく必要がある。
スタディーサポートの結果もよいので、いま進めているカリキュラムを実施してほしい。

(2) 「尾北検定」について

- ・スキル、マナーに加え、表現力、プレゼンテーション能力を測る検定内容にしていく必要がある。
- ・評価方法の研究の推進

フィールドワークなど、どういう力を身に付けさせるのか、評価とセットで指導計画をつくる必要がある。

2 「総合的な学習の時間」と「産業社会と人間」の単元実施計画について（教育研究部）

(1) 年間指導計画のうち4～6月分についての検討

(2) 評価計画の作成について（今後進めること）

- ・単元ごとのルーブリック作成
- ・生徒の自己評価の導入

(3) その他

- ・単元 グローバル課題を知る→グローバル課題発見とし、課題を発見させる内容にする
- ・8月の広島大学オープンキャンパス（全員参加）は、個人参加型に変更し、各自が志望する大学へ参加させて、レポート作成などを行うこととする。

3 実践推進リーダー研修（第1回）4月20日（水）報告

- ・主体的学びについて
- ・ICEモデルでの評価について
- ・公開研究授業での評価について

4 1年次早期セミナー 4月23日（土）報告と今後の取組について（8名参加）

「産業社会と人間」の時間で、1学年全員に対し、実物投影機を用いて参加報告を行った